

ほん まな せんそう ひさん へいわ あい ころ 本から学ぶ 戦争の悲惨さ 平和を愛する心

「慰霊の日」6月23日は太平洋戦争において最も激戦地であった沖縄戦が終結した日です。



『世界中の子どもたちへ』
堤江美／作 (外国)

『被爆者-60年目のことば』(広島・長崎)
6人の被爆者が語る写真絵本。



『かわいいそうなぞう』
土家由岐雄／作 (東京)
戦争中、上野動物園で三頭のゾウが殺されました。本当にあった悲しいお話です。

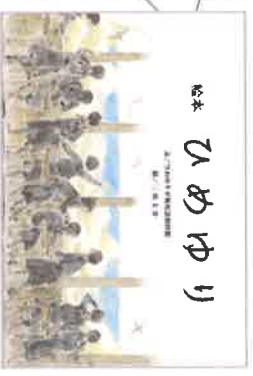


『沖縄のいま、むかし』『沖縄戦はなぜおきた?』『島ぐるみの悲劇の戦争』『美ら島と米軍基地』『命どう宝のこころ』
ビジュアルブック 語の伝える沖縄 (全5巻) / 安斎育郎 文・監修

『マニアのアンダー』
(沖縄) 赤座憲久／文
息子・昭夫の戦死を知り骨探しに行くが…我が子を感じる気持ちあるれ、沖縄の母物語。



『絵本 ひめゆり』(沖縄)
ひめゆり平和祈念資料館／文
ひめゆり学徒隊で生き残った人たちの証言を基に作られた絵本。



おきなわせん せんそう もうひとつの沖縄戦…「戦争マラリア」

沖縄戦の最中、八重山では「マラリア」という伝染病によって大勢の死者がでました。
毎年、慰霊の日の6月23日には、バナナ公園にある「八重山戦争マラリア犠牲者慰霊之碑」で慰霊祭が行われています。



『忘れな石』
西表島の南風見海岸にある忘れな石。そこには戦争マラリアの悲惨さと、平和を願う思いが刻まれています。



『忘れな石』 宮良作／文 宮良英子／絵



『テッチャんの十五年戦争』(八重山) 儀間比呂志／作
「戦争のない平和な時代のあなたたちは幸せです。」テッチャんが体験した八重山での戦争。



『みのかさ隊奮闘記』(八重山) 儀間比呂志／文
みのかさを育てスコップとモッコを担いで飛行場の修復に命がけでこき使われた一団があった…八重山の男たちのいくさ物語。



図書館だより

としよかんクイズ♪

ひからすの1(ペ)やさんシリ
ーズ。おもちゃくんは、なに
やさんになったでしよう？

今月の目標

平和について考えよう。平和に関する本を読もう。

のどがかわいたら
冷たい水が飲める
あたたかい布国でねむれる
友達と笑いあえる
好きな人の顔が見られる

そんなあたりまえの幸せ
戦争はつばっていった

二度とつばわれたくない

戦争をおこすのも人間、
ふせぐのも人間だ

聞こう、
見よう、
そして考えよう

自分の笑顔と、

大切な人の笑顔が続くために...

(琉球新報のゆづり - 紙面より)



6月は平和月間

命どう宝
いのちは、なによりもたいせつなもの

6月23日の慰霊の日に合わせて、6月は平和月間となっています。図書館では、戦争と平和について考える本の紹介と、沖縄戦パネル展「命どう宝」展をおこなっています。

「沖縄戦ってなに?」「どんな事があったの?」歴史を学び、人々の思いを知ることが、未来を作っていく私たちの大切なことです。戦争の無い世の中にするにはどうしたら良いのか、平和月間を通して考えてみましょう。

(↓パネルの一部です)



アメリカ軍の戦車を横目に、
若い弟を背負って歩く少女



収容所で開かれた青空教室



「白旗」を掲げる少女
降伏を意味する

6月は平和月間となっています。沖縄戦の最中、八重山ではワリアという伝染病によって大勢の死者がでました。平和月間の取り組みの一環として沖縄本島から石垣市出身の歌手國吉なおみさんを招き、平和コンサートを行いました。素敵な歌を聴いて平和の大切さを学びました。これからみんな仲良く、許す心をもって平和な毎日を送りましょう。

